しゃっちょうは行く!

Broaden your horizons® ~さぁ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島惠美子です。 先日、雑誌の『AERA』や『THE21』で「結果を出すリーダー に変わる方法」などに取り上げていただいたことがきっかけて、 労働体験学習前の中学2年生と保護者の方に講演する機会に恵

まれました。今、文部科学省の指導の下、中学校の特別活動枠にさまざまな職業の現場を体験させるカリキュラムが組み込まれています。知りませんでした。

「薬剤師を知っていますか?」という事前アンケートでは96.3%の生徒が「知っている」と答えてくれました。確か、天才子役・芦田愛菜ちゃんの将来の夢も薬剤師でした。日本の将来を担う子どもたちの間で、薬剤師の認知度が高まっていることを肌で感じ取ることができました。

小学生と高校生、大学生には講演を行ったことはありますが、中学生は今回が初めてでした。純粋無垢な小学生は積極的に手を挙げてくれましたが、思春期の扉を開いた中学生は……。浪速の中学生だけに、絶妙な「つかみ」で興味を誘わないと、2時限ももたないぞ。では、どんなことに一番反応する



のかしら……お金? ということで、「日本で一番お給料の高い人は誰?」から、切り出しました。みんなニヤニヤ、ザワザワ。「答えは内閣総理大臣です。年俸5,130万円!」。「え〜!」「な〜んだ」「やっぱり〜」「高っ!」「安倍さん、すげぇ!」など、反応は上々です。次に、「この注射剤のお値段はいくらでしょうか?」。ここから手が挙がりはじめました。「500円!」「5,000円!」「1万円!」とどんどん金額がつり上がります。「答えは14万円です」。「高すぎ!」「うそ〜!」。つかみは大成功です(笑)。もちろん、本ネタもスムーズに運び、あっという間に2時限が終了しました。

オチではありませんが、最後に伝えたのは「笑顔の魔法」です。「笑顔は人の心を癒やし、人を魅了し、そして伝染します。つらいときほど笑顔を浮かべてください。 そうすると心が軽くなります。労働体験でさまざまな事業所に行くのですから、笑顔で挨拶してください」と。終了後、「薬剤師になりたい」と言ってくれる生徒もいて感激しました。薬剤師には笑顔が大切です。笑顔が似合う薬剤師になりましょう!

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 惠美子